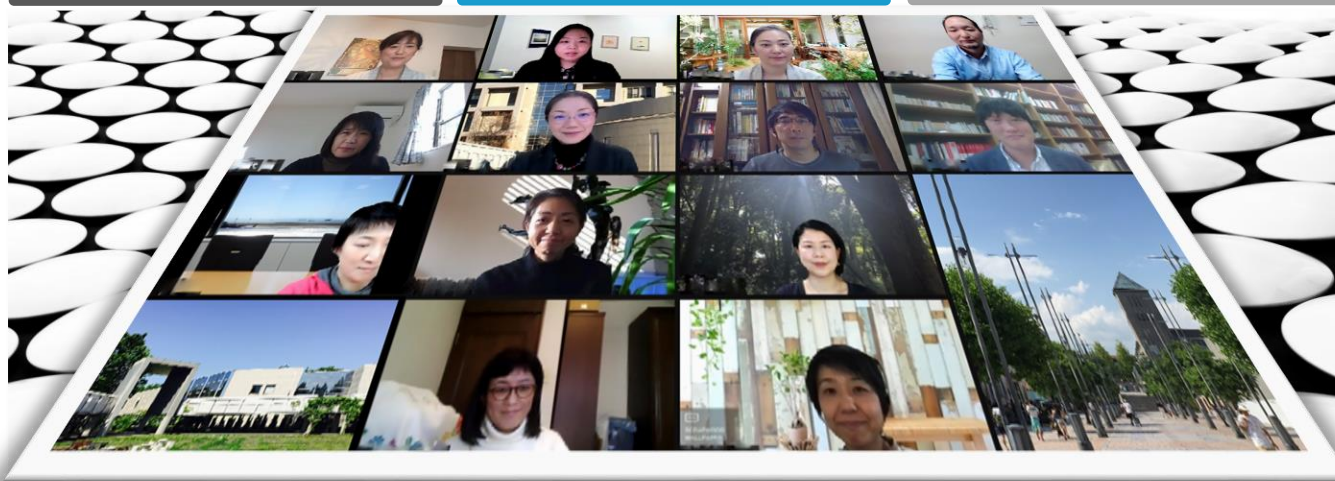


新型コロナ時代における フィールドワークのいま、そしてこれから 開催報告

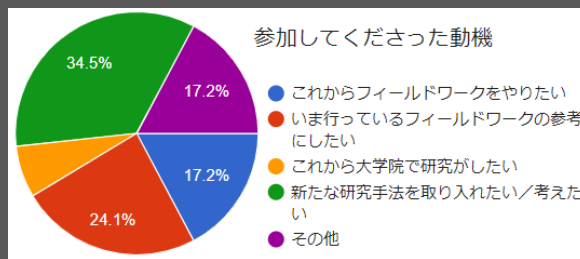
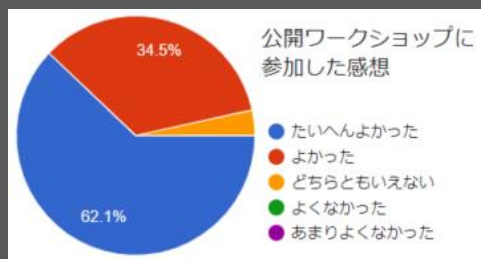


2021年2月13日(土)に開催されたオンラインイベントには、医療系や人類学系を専門とされている教員や大学院生の方々、そしてフィールドワークに関心をもっている専門の方々などから多くの関心を寄せていただき、80名ほどご参加くださいました。

特に今回は初のオンライン開催ということもあり、普段ならなかなか一同に会える機会を得られない全国各地の方々、ネットを通じてつながることができ、イベントは盛会のうちに終了しました!

第一部は、いま現在フィールドワークを行っている大学院生、そしてフィールドワークの成果を修士論文にまとめた大学院生の方4名に発表していただきました。そして第二部は、フィールドワーク教育の実践について話題提供をしていただきました。

参加者からは、「今まで、自分の領域に関心が限られていたように思うが、フィールドワークという他領域との共通項からも学びがひろがるのがわかり、視野をひろく持つ必要性を感じました。」「フィールドワークからオンラインでの調査に切り替えた発表もあり、皆様、悩んで工夫しながら研究を進めておられるのに刺激を受けました。」「院生が今後フィールドワークを希望してくる場合があると思い、参加させていただきました。勉強になりました。」「参加させていただいて、ニューノーマルのこれからの時代に生きて研究するということの、より実感を伴った理解ができました。新しくオンラインを加えて、オフラインもその場の空間も時間的経過も全てを踏まえてフィールドと相互に関わっていくことが必要だと感じました。そして、フィールドで起こっていることを捉える方法の多様性についてとても考えさせられました。」など、領域を超えたイベントであったがゆえの良さ、そして有意義な時間を過ごして頂いたこと、次回開催への期待も多く寄せられました。



今後も活動を継続していきますので、皆さまの引き続きのご参加を心よりお待ちしております!

■主催: 東京都立大学人間健康科学研究科 / 人文科学研究科

■問い合わせ: fwrl.tmu@gmail.com